

# 籾すり精米機 HR-1型

## 取扱説明書



この度は、籾すり精米機「HR-1型」をお買上げ頂き厚くお礼申し上げます。

ご使用前には取扱説明書を熟読され、末長くご愛用下さい。  
尚、不明瞭な点がありましたら販売店もしくは当社にお問合せ下さい。



### 警告

この取扱説明書を熟読され十分に理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

## 重要なお知らせ



この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従って下さい。

この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。  
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。  
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。  
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せ下さい。
- 3) この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあった場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡下さい。



この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従って下さい。

もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せで回答を得るまで作業を進めないで下さい。

# 目次

	ページ
1.危険防止のために	
1-1 警告用語の種類と意味	1
1-2 本機の使用にあたっての諸注意	2
1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明(1)	3
1-4 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明(2)	4
1-5 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明(3)	5
2.ご使用になるまえに	
2-1 各部の名称	6
2-2 電気仕様	8
2-3 運転前の準備	9
2-4 籾すり精米機の据え付けについて	10
2-5 籾の品質と特性について	10
2-6 操作パネルの説明	11
2-7 操作パネルの機能説明	12
3.運転の仕方	
3-1 籾すり・精米切替運転の仕方	14
3-2 籾すりだけを行う運転の仕方	15
3-3 精米だけを行う運転の仕方	17
3-4 籾すり・精米同時運転の仕方	18
4.点検・掃除	
4-1 精米金網の掃除・交換	19
4-2 研米ロールの掃除・交換	20
4-3 フィルターの掃除	21
4-4 白さの調整	22
4-5 脱臼回転盤及び脱臼ケースゴムの交換	23
4-6 選別装置の掃除	24
4-7 脱臼機の風量調節	25
4-8 各ベルトの交換及び調整方法	26
4-9 電気配線図	27
5.不調な時の原因と対策	
5-1 不調な時の原因と対策一覧 - 1	28
5-1 不調な時の原因と対策一覧 - 2	29

# 1.危険防止のために

## 1-1 警告用語の種類と意味

危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。  
この警告ラベルでは危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容(指示)に従って下さい。

 <b>危険</b>	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 <b>警告</b>	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 <b>注意</b>	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

### **警告**

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)

# 1.危険防止のために

## 1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 <b>注 意</b>	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
--	---

 <b>警 告</b>	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電気的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
--	--

 <b>警 告</b>	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。 新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)
---	---

 <b>警 告</b>	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないで下さい。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
--	--

 <b>警 告</b>	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず実施して下さい。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業して下さい。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
--	---

上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守って下さい。

# 1.重要なお知らせ

## 1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明(1)

 <b>警告</b>	<p>危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。          このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。          又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。</p>
---	---



ラベルの説明
<p>運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能、機能を充分理解してから運転をして下さい。          取扱説明書に従わなかったときは本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。          (注文コード 260-433-11)</p>



ラベルの説明
<p>ホッパーを開閉するときは手・指をはさまないように注意して下さい。          (注文コード 260-431-11)</p>



ラベルの説明
<p>機体内部の点検、修理やベルトの交換、その他停電の時等には、危険防止のため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。          (注文コード 260-410-11)</p>



ラベルの説明
<p>運転中は絶対にタンク内に手を入れないで下さい。          指にスクリーウの先端が接触し、ケガをする場合があります。          掃除・点検などを行う際は、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いて下さい。          (注文コード 260-401-11)</p>

# 1.重要なお知らせ

## 1-4 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明(2)



### 警告

危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
 又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。



#### ラベルの説明

運転中にサイクロンを上からのぞきますと、目にゴミなどがはいり目をいためますので、運転中は絶対にのぞかないでください。

(注文コード 260-435-11)



#### ラベルの説明

運転中は絶対に米排出口の万石カバー下方から手を入れないで下さい。指に精米ロールの先端が接触し、ケガをする場合があります。掃除・点検などを行う際は、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いて下さい。

(注文コード 260-407-11)



#### ラベルの説明

図示のカバーを外すと内部に電装品が収納されております。通電中に接触しますと感電します。運転する場合は必ずカバーを閉めて下さい。又、点検・修理などで電装部品を調べられる場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

(注文コード 260-424-11)

# 1.重要なお知らせ

## 1-5 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明(3)



### 警告

危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。

このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。



#### ラベルの説明

機体内部の点検、修理やベルトの交換、その他停電の時等には、危険防止のため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

(注文コード 260-410-11)



#### ラベルの説明

後カバーを開けると、伝動部があります。運転中にこれらに手で直接接触するとケガをしますので、カバーを開けるときは必ず電源プラグを抜いて下さい。

(注文コード 260-400-11)

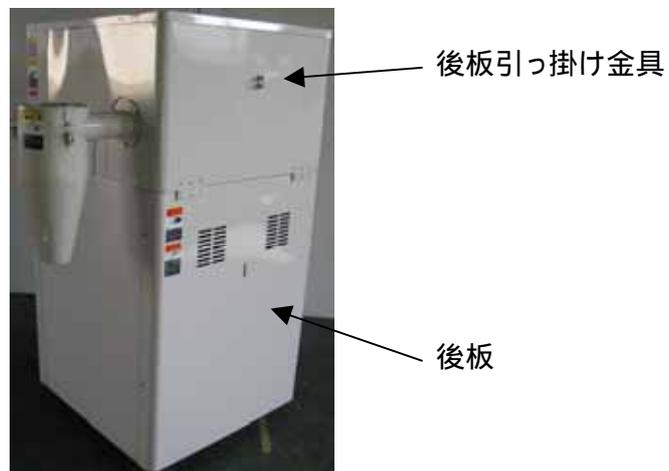
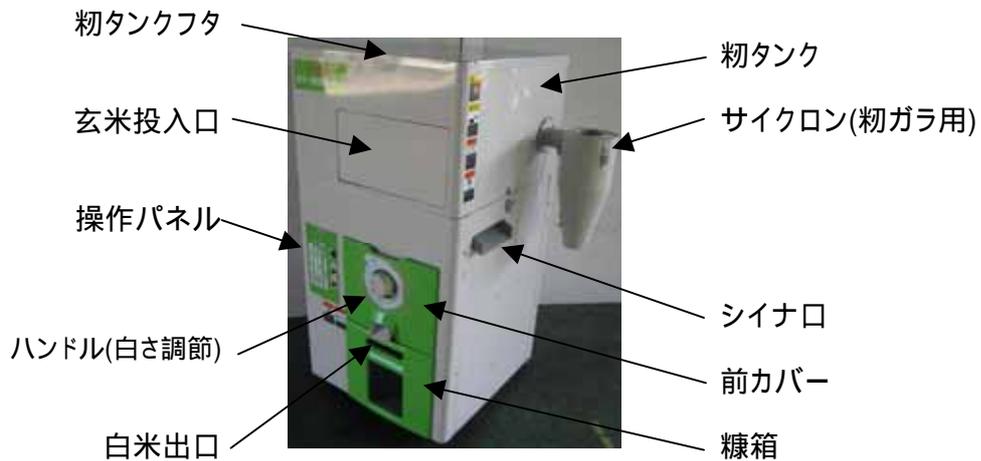
## 2.ご使用になるまえに

### 2-1 本機の構成名称



#### 注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱い下さい。



## 2.ご使用になるまえに



### 注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解したうえでお取り扱い下さい。



## 2.ご使用になるまえに

### 2-2 電気仕様



#### 注意

本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施して下さい。自分で勝手に工事はなさないで下さい。本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。

名称・型式	籾すり精米機 HR - 1
使用モーター	籾すり部(遠心脱ぷ方式) 単相250W
	精米部(一回搗) 単相450W
籾タンク	20kg
玄米タンク	16kg
糠箱容積	籾20kg 籾すり-精米分
操作性	センサーマイコン制御・自動停止
籾すり能力	90 ~ 110kg / h
精米能力	30 ~ 35kg / h
籾すり-精米能力 (籾20kgの場合)	籾すり・精米 単独切換運転 38分 ~ 45分
	籾すり・精米 同時運転 30分 ~ 35分
機体寸法	全長 679mm
	全幅 648.8mm (サイクロン取付時 842.8mm)
	全高 1151mm
本機重量	57kg
電源	単相100V
ブレーカー	20A (電力側の設備容量)
安全装置	籾すり過負荷保護ブレーカー 8.0 A
	精米機過負荷保護ブレーカー 10.0 A

#### 注意

- 1) 毎時能力は籾の乾燥度合い品種・米質・搗精時期などの諸要因により多少の変化があります。
- 2) 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

単相モーターの出力と各設備の容量					籾すり精米機 HR - 1 型				
モーター	電圧	開閉器	超過目盛	ブレーカー	配線最小太さ		配線最大長さ	アース線最小径	
			電流計(A)		直径mm	(mm <sup>2</sup> )		(m)	直径mm
0.25Kw	単相100V	20A以上	20A	20A以上	1.6	(2.0)	18	1.6	2.0
0.4Kw									

#### 注意

- 1) 電灯線えの接続・タコアシ配線は絶対にしないで下さい。発熱・火災等の原因となります。
- 2) 家庭用契約電力は各20A以上が必要です。
- 3) コード・リールは使用しないで下さい。不調の原因となります。
- 4) 電気容量の大きい他の電気製品との同時運転はしないで下さい。(掃除機・電熱器)等
- 5) 電源は単相100Vを使用して下さい。

## 2.ご使用になるまえに

### 2-3 運転前の準備



#### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って、作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意して下さい。

- 1) サイクロンを取り付けて下さい。



付属の六角ボルト(M6)で固定する。

サイクロン

- 2) 粉ガラ袋を取り付けて下さい。



サイクロンの下端に粉ガラ袋をセットする時袋が狭くならないようにサイクロン金具の上部にヒモで縛って下さい。  
この位置が狭くならないようにする事。  
抜れて狭くなるとサイクロンの上部より粉ガラが吹き出します。

粉ガラ袋

- 3) シイナ口にシイナを受ける袋又は受け箱をセットして下さい。



シイナ口

## 2.ご使用になるまえに

### 2-4 籾すり精米機の据え付けについて

- 1) 設置場所は、湿気の無いところで水・油等のかからない場所をえらんで下さい。
- 2) 機体が水平になるように設置してください。

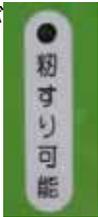
### 2-5 籾の品質と特性について

- 1) 籾はワラクズ等がない籾を使用して下さい
- 2) 籾の水分は、16%以下程度のものを使用して下さい  
籾の水分が高いと脱ブ率が低下し精米機が詰まる原因になります。
- 3) 未熟米が多い籾を使用した場合は、脱ブ率が悪くなり、精米の途中に詰まる場合があります。  
未熟米が多い籾は使用しないようにしてください。
- 4) 餅米は糠層が厚く搗きにくいので、2度搗して下さい。  
きれいに歩留りよく仕上がります。
- 5) 新米は精米しやすいので収穫後1ヶ月程は抵抗目盛りを一度”0”に戻してから  
ゆっくりと抵抗をかけて下さい。



## 2.ご使用になるまえに

### 2-7 操作パネルの機能説明

- 1 電源スイッチを"入"にすると電源が入ります。
- 
- 2 電源ランプが点灯。(緑)
- 
- 3 粳すり・精米 切換運転スイッチを押す。
- 
- 6 約10秒後に粳すり可能ランプが点滅します。
- 
- ↓
- ・ 粳すり可能ランプが点滅したら 粳シャッターレバーを"開"にして下さい。粳すりが始まります。粳がなくなると自動的に粳すりが停止し 精米機が作動します。
  - ・ 玄米がなくなると約10後に 精米機が自動停止します。
- 4 精米 単独運転スイッチを押す。
- 
- 6 約10秒後に粳すり可能ランプが点滅します。
- 
- ↓
- ・ 粳すり可能ランプが点滅したら 粳シャッターレバーを"開"にして下さい。粳すりと精米が始まります。粳がなくなると自動的に粳すりが停止し 玄米がなくなると約10後に 精米機が自動停止します。

## 2.ご使用になるまえに

8

精米機モーターが過負荷状態になるとサーマルが作動します。



サーマルが作動した時  
電源プラグを抜く  
原因を取り除く  
サーマルリセットボタンを押す  
(但し、3秒以上押し続けないこと)

7

籾すり機モーターが過負荷状態になるとサーマルが作動します。



サーマルが作動した時  
電源プラグを抜く  
原因を取り除く  
サーマルリセットボタンを押す  
(但し、3秒以上押し続けないこと)

## 3. 運転の仕方

### 3-1 粳すり・精米切換運転の仕方



#### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

#### 準備

#### 重要

- 1) 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2) サイクロンに粳ガラ袋を取り付ける。
- 3) 粳すりシャッターレバーが"閉"になっているか確認する。  
"開"の場合は閉める。
- 4) 糠箱が空になっているか確認する。
- 5) 粳を入れる。
- 6) 白米出口、シイナ口、玄米オーバーフロー口に  
適当な袋又は容器をセットする。
- 7) ハンドルを"0"の位置にする。

シイナ口

ハンドル

白米出口

糠箱



手順  
1

電源スイッチを入れる。



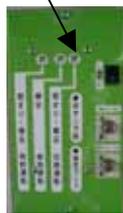
粳すりシャッターレバー

玄米オーバーフロー口



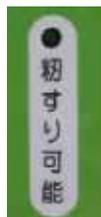
手順  
2

粳すり・精米切換運転スイッチを押す。  
粳すり機が作動。



手順  
3

粳すり可能ランプが点滅したら  
粳すりシャッターレバーを"開"にする。



手順  
4

粳すり機が停止した後  
精米機が作動します。  
お米が出てきたらハンドルを回して  
お好みの白さに調整して下さい。

米がなくなると  
本機は自動停止します。

**注意: 粳すりシャッターレバーが"閉"でないと本機は作動しません。**

## 3.運転の仕方

### 3-2 粳すりだけを行う運転の仕方



#### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

#### 準備

- 1) 玄米取出しシュートを玄米排出口にセットする。

粳すりシャッターレバー

玄米排出口



玄米排出口

玄米取出しシュート



この箇所を奥に引っ掛ける

- ・ シュートの奥を少し持ち上げて玄米排出口端面まで入れて下げる。  
外すときは、奥を少し持ち上げて手前に引くと外れます。

#### 重要

- 2) 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 3) サイクロンに粳ガラ袋を取り付ける。
- 4) 粳すりシャッターレバーが"閉"になっているか確認する。  
"開"の場合は閉める。
- 5) 粳を入れる。
- 6) シイナ口に適切な袋又は容器をセットする。

### 3.運転の仕方

手順  
1

電源スイッチを入れる。



手順  
2

籾すり・精米切換運転スイッチを押す。  
籾すり機が作動。



手順  
3

籾すり可能ランプが点滅したら  
籾すりシャッターレバーを"開"にする。



手順  
4

籾がなくなると  
籾すり機が自動停止します。

籾すり機停止後  
精米機が作動しますが  
約10秒後に自動停止します。



**注意: 籾すりシャッターレバーが"閉"でないと本機は作動しません。**

## 3. 運転の仕方

### 3-3 精米だけを行う運転の仕方



#### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

#### 準備

- 1) 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2) サイクロンに籾ガラ袋を取り付ける。
- 3) 籾すりシャッターレバーが"閉"になっているか確認する。  
"開"の場合は閉める。
- 4) 糠箱が空になっているか確認する。
- 5) 玄米投入口を開けて玄米を入れる。
- 6) 白米出口に適当な容器をセットする。
- 7) ハンドルを"0"の位置にする。

#### 重要

玄米投入口



上部中程を押すと投入口上部が開きます。  
指を引っ掛けて開けて下さい。

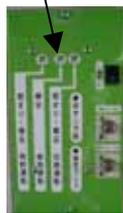
手順  
1

電源スイッチを入れる。



手順  
2

精米単独運転スイッチを押す。  
精米機が作動。



手順  
3

お米が出てきたらハンドルを回してお好みの白さに調整して下さい。

手順  
4

米がなくなると本機は自動停止します。

最初に出てくる玄米・半搗米は玄米投入口から戻して下さい。

ハンドル

白米出口



糠箱

**注意: 籾すりシャッターレバーが"閉"でないと本機は作動しません。**

## 3.運転の仕方

### 3-4 粳すり・精米同時運転の仕方



#### 注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

#### 準備

#### 重要

- 1) 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 2) サイクロンに粳ガラ袋を取り付ける。
- 3) 粳すりシャッターレバーが"閉"になっているか確認する。  
"開"の場合は閉める。
- 4) 糠箱が空になっているか確認する。
- 5) 粳を入れる。
- 6) 白米出口、シイナ口、玄米オーバーフロー口に  
適当な袋又は容器をセットする。
- 7) ハンドルを"0"の位置にする。

シイナ口

ハンドル

白米出口

糠箱



手順  
1

電源スイッチを入れる。



粳すりシャッターレバー

玄米オーバーフロー口



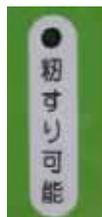
手順  
2

粳すり・精米同時運転スイッチを押す。  
粳すり機・精米機が作動。



手順  
3

粳すり可能ランプが点滅したら  
粳すりシャッターレバーを"開"にする。



手順  
4

お米が出てきたらハンドルを回して  
お好みの白さに調整して下さい。

↓  
粳すり機は粳がなくなると  
約15秒後に自動停止します。

精米機は玄米がなくなると  
約10秒後に自動停止します。

**注意: 粳すりシャッターレバーが"閉"でないと本機は作動しません。**

## 4.点検・掃除

### 4-1 精米金網の掃除・交換

下記に示す手順で作業を行なって下さい



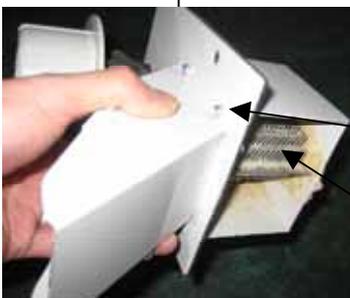
1) 前カバーを外すして排出板ノブを外す。

排出板ノブ



2) 排出板アッセンを手前に引き出す。

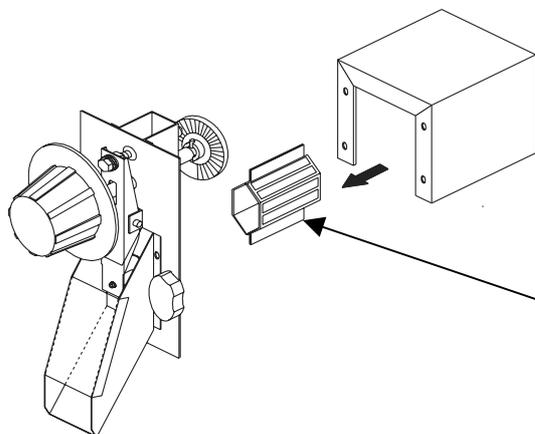
排出板アッセン



3) 金網枠のセットネジを外す。

セットネジ(4本)

金網



金網を掃除  
又は交換して下さい。

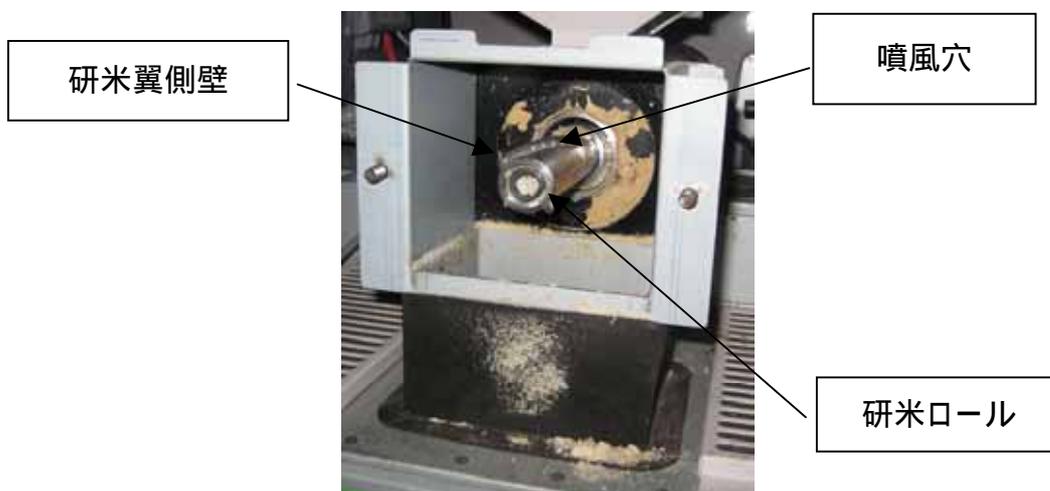
## 4.点検・掃除

### 4-2 研米ロールの掃除・交換

下記に示す手順で作業を行なってください

- 1)前カバーを外して排出板ノブを外す。
- 2)排出板アッセンを手前に引き出す。

内に研米ロールが見えます。  
付属のワイヤブラシで研米翼側壁の糠・噴風口(詰まり)を掃除して下さい。

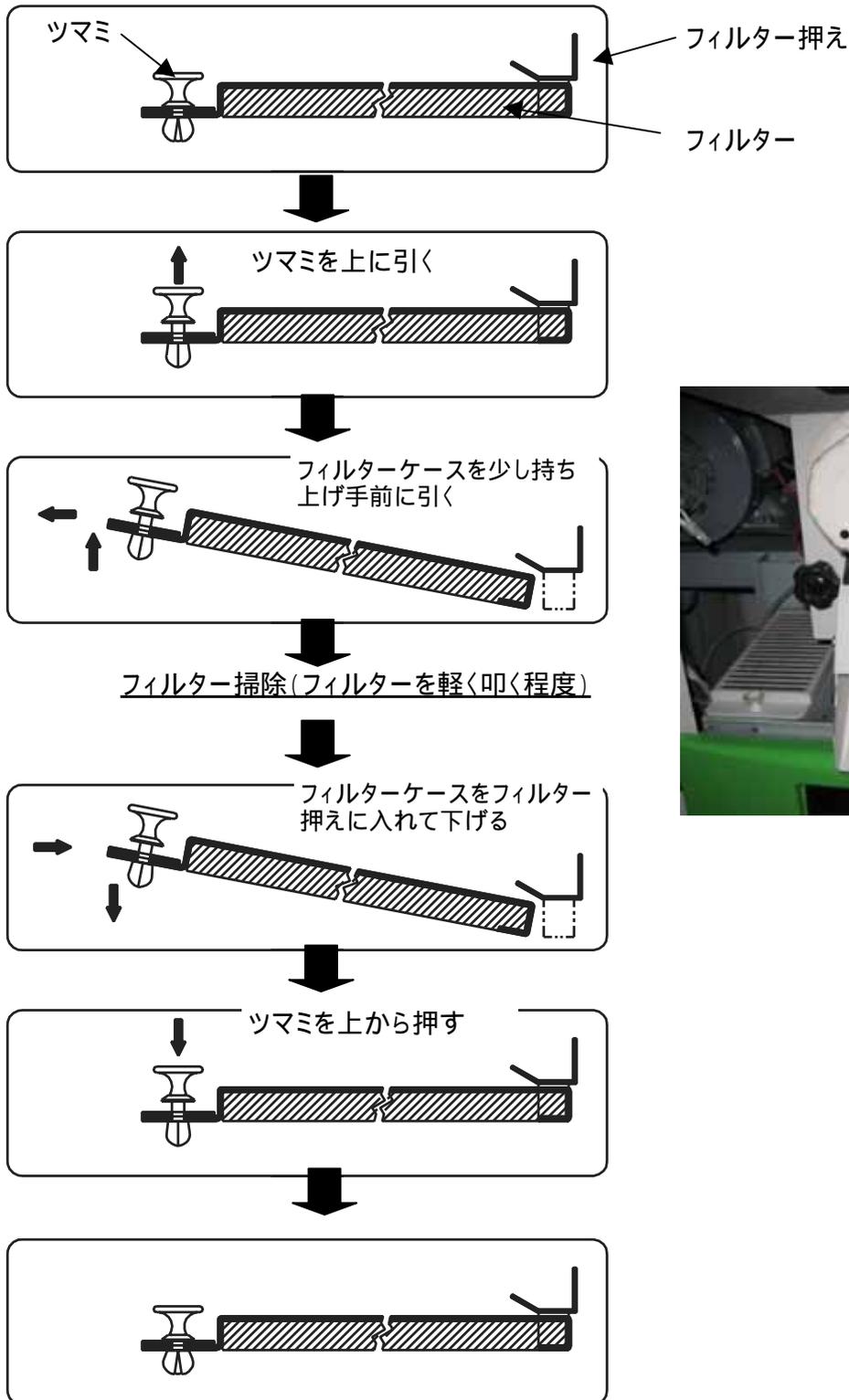


研米ロール翼側壁に22、又は23番スパナを当て左に回せば研米ロールは取り外せます。  
(このとき、後部の主ブリーは固定して下さい。)

## 4.点検・掃除

### 4-3 フィルターの掃除

下記に示す手順で作業を行なって下さい



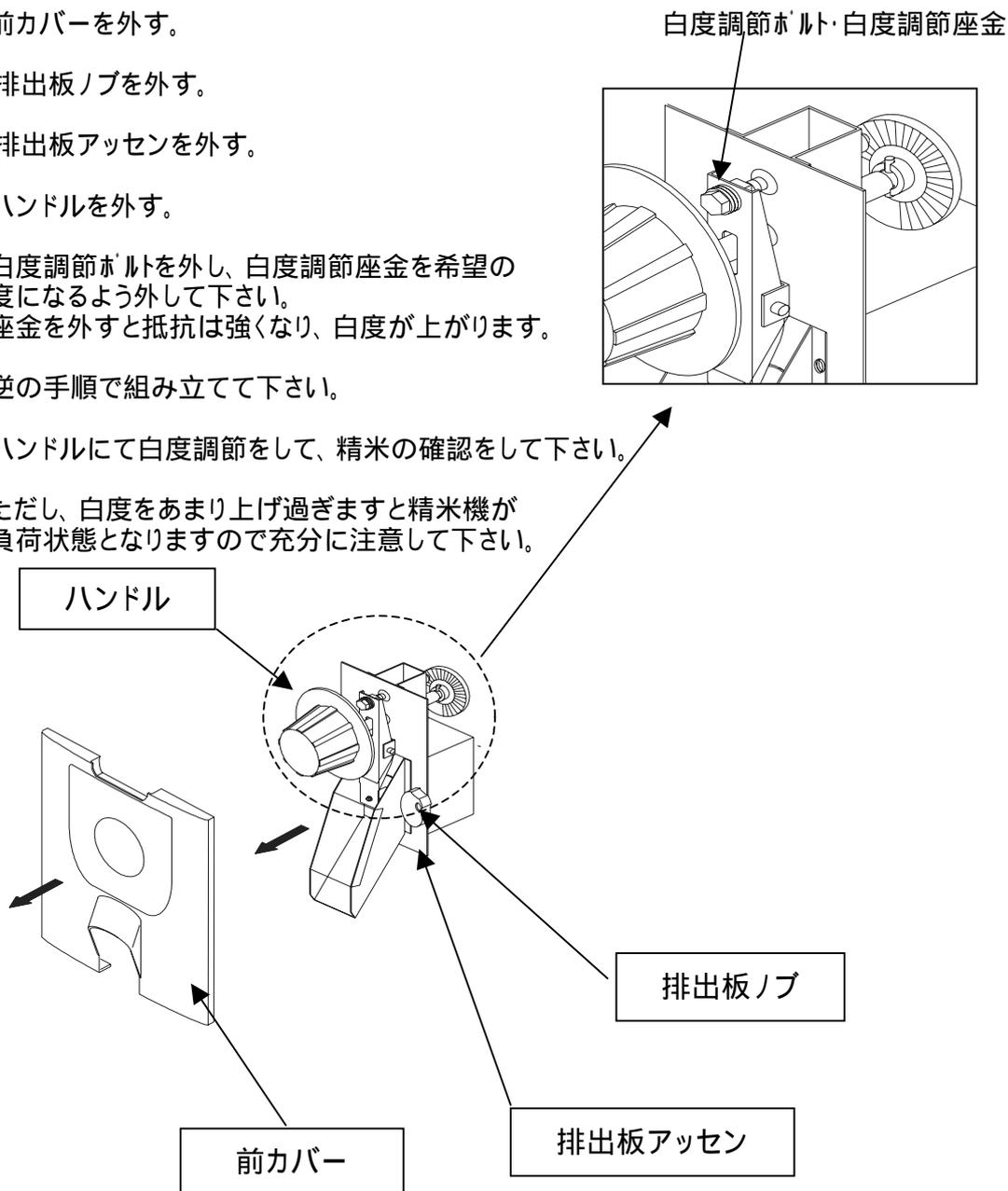
## 4.点検・掃除

### 4-4 白さの調整

米の白さ調整は精米機操作部のハンドルの調節にて行いますが、このハンドルの調節だけでの白さでは十分に満足いただけない場合は下記の方法にて白さの調整をして下さい。

- 1).前カバーを外す。
- 2).排出板ノブを外す。
- 3).排出板アッセンを外す。
- 4).ハンドルを外す。
- 5).白度調節ホルトを外し、白度調節座金を希望の白度になるよう外して下さい。  
座金を外すと抵抗は強くなり、白度が上がります。
- 6).逆の手順で組み立てて下さい。
- 7).ハンドルにて白度調節をして、精米の確認をして下さい。

ただし、白度をあまり上げ過ぎますと精米機が過負荷状態となりますので十分に注意して下さい。



## 4.点検・掃除

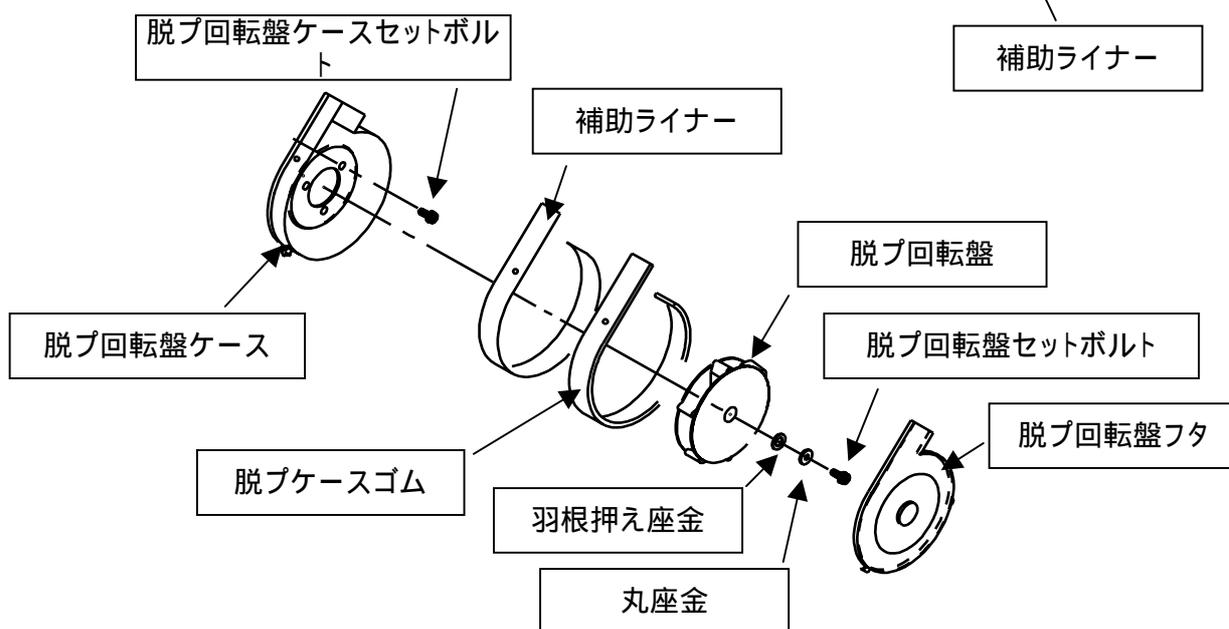
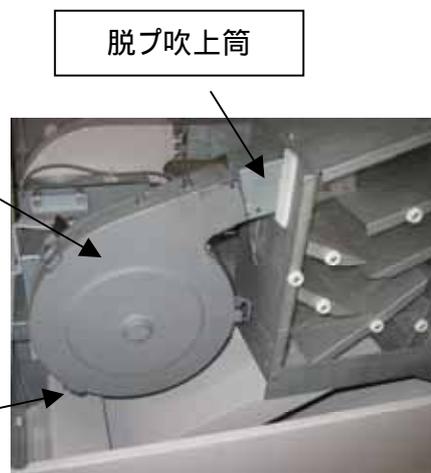
### 4-5 脱ブ回転盤及び脱ブケースゴムの交換

下記に示す手順で作業を行なって下さい

- 1) 脱ブ吹上筒を選別装置側にスライドさせる。
- 2) 脱ブ回転盤フタのバックルを外し脱ブ回転盤フタを外す。
- 3) 脱ブ回転盤セットボルトを外し脱ブ回転盤を外す。
- 4) 脱ブ回転盤ケースセットボルトを外し脱ブ回転盤ケースを外す。

- 5) 脱ブ回転盤ケースを外しましたら補助ライナーと脱ブケースゴムを共締めしているボルトを外せば脱ブケースゴムと補助ライナーが外せます。

交換して元通りに戻して下さい。

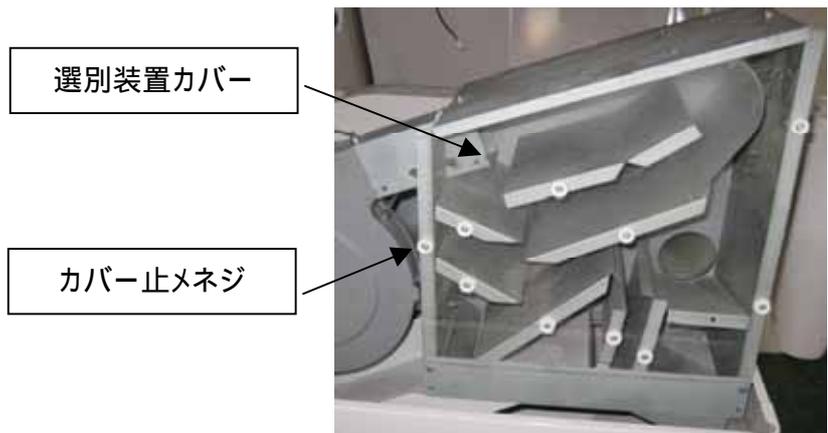


## 4.点検・掃除

### 4-6 選別装置の掃除

下記に示す手順で作業を行なって下さい

- 1) 粉タンクを開けると前面に選別装置があります。
- 2) 選別装置カバーの止メネジ(10本)を外してカバーを右側にスライドさせるとカバーが外れます。
- 3) 選別装置内にワラクス・異物等がありましたら除去して下さい。



## 4.点検・掃除

### 4-7 脱ブ機の風量調節

下記に示す手順で作業を行なって下さい

1) 籾タンクを開けると後面に脱ブ吸引ファンセットがあります。右写真の箇所に2次空気口シャッターがあります。

2) 2次空気口シャッター止メネジを緩めて2次空気口の調整をして下さい。(出荷時 幅25mm)

(サイクロンに整流米が出る場合)  
吸引力が強すぎるため  
2次空気口を広げます。

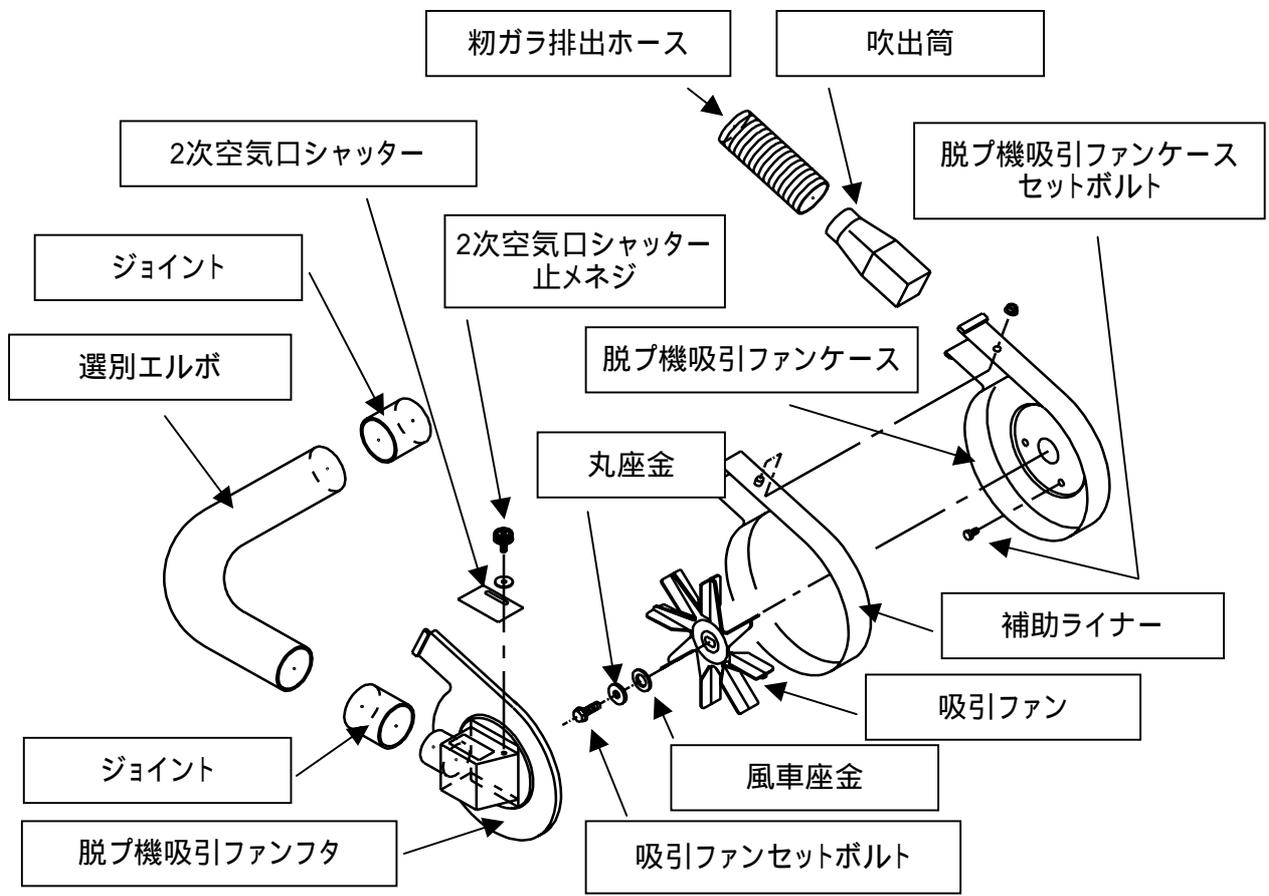
(玄米に整流米が混ざる場合)  
吸引力が弱いため  
2次空気口を狭くします。

脱ブ機吸引ファンセット



2次空気口シャッター

2次空気口シャッター止メネジ

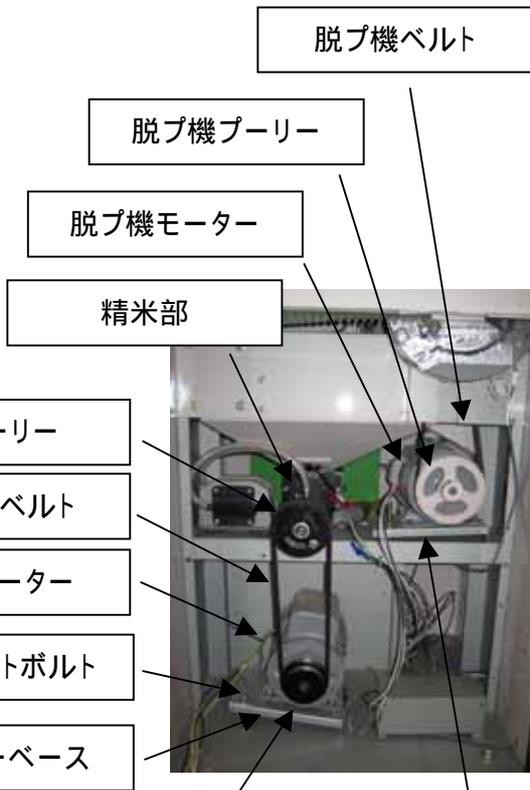
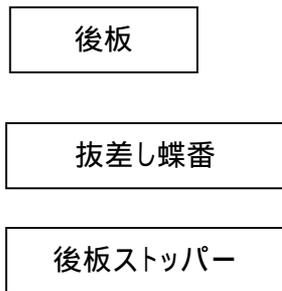


## 4.点検・掃除

### 4-8 各ベルトの交換及び調整方法

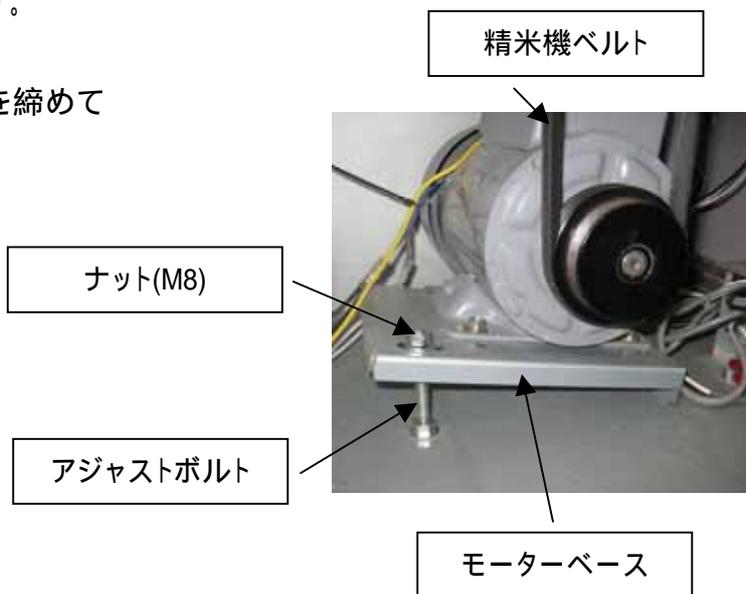
下記に示す手順で作業を行なって下さい

- 1) 後板を上部に開口して後板ストッパーに抜差し蝶番を通し後板を固定して下さい。



- 2) モーターベースのアジャストボルトの上にあるナット(M8)を緩めるとベルトが緩み外すことができます。

ベルト交換が終わりましたらアジャストボルト上のナット(M8)を締めてベルトを適度に張って下さい。





## 5.不調な時の原因と対策

### 5-1 不調な時の原因と対策 - 1



**警告**

点検・掃除・作業を行う場合及び精米作業終了後は、必ず電源プラグをコンセントより抜いて下さい。安全上支障をきたす場合があります。

状 態	原 因	対 策
各運転ボタンを押しても精米機及び粳すり機が作動しない	電源が入っていない 電源ランプが点灯しない	電源及び配線を確認 基板のヒューズが切れている
	粳シャッターが閉まっていない	粳シャッターを閉める
	サーマルが作動している	サーマルをリセット
米がないのに自動停止しない	センサー部に糠などが付着している 断線している	センサー及び周辺を掃除 断線していないかチェック
米があるのに自動停止する	断線している	断線していないかチェック
サーマルが作動する	必要以上に白度を上げ過ぎる	抵抗を弱めにする
	ベルトがゆるんでいる	各ベルトを張る
	粳すり機及び精米機内に異物が混入している	異物を取り除く
	電源(電圧低下)又は配線上で異常がある	電源及び配線を確認して下さい
	コードリールを使用している	コードリールや長い延長コードは使用しない
	糠箱に糠が目一杯になっている	糠を処分して下さい
	サイクロン・精米機内に糠がつまっている	取扱説明書通りに各部の掃除を行って下さい
白度が上がらない・糠ハケが悪い	抵抗が弱い	抵抗を1目盛り強くする
	精米機内に糠がつまっている	取扱説明書通りに各部の掃除を行って下さい
	金網・ロールに糠が付着している	各部を分解し掃除
	金網・ロール等が摩耗している	金網・ロール等を交換
	ベルトがゆるんでいる	各ベルトを張る
碎米が多い	水分が高い	抵抗を弱めにする
	必要以上に白度を上げ過ぎる	抵抗を弱めにする
	米に胴割れが多い	抵抗を弱くして二回搗する
	精米機内に異物が混入している	異物を取り除く
むら搗になる	主抵抗支杆、主抵抗板、排出板の米排出口などに糠が付着している。	各部を掃除して付着した糠を取り除く

## 5.不調な時の原因と対策

### 5-1 不調な時の原因と対策 - 2



#### 警告

点検・掃除・作業を行う場合及び精米作業終了後は、必ず電源プラグをコンセントより抜いて下さい。安全上支障をきたす場合があります。

状 態	原 因	対 策
カタカタと音がする	プーリー類のセットボルトのゆるみ	プーリーのセットボルトを締める
籾すり時間がかかる	籾の中にワラズが多い	ワラズを取り除く
	籾の乾燥が悪い	-
	機械の回転が下がっている	ベルトの張り及び電圧を調査する
	脱ブケースゴム・脱ブ回転盤が磨耗している	交換して下さい
玄米中に籾ガラが多い	選別装置内にワラズが詰まっている 吸引力が弱い	選別装置を掃除 吸引ファンの風量を調整する
籾ガラ内に玄米が混ざる	選別装置内にワラズが詰まっている 吸引力が強い	選別装置を掃除 吸引ファンの風量を調整する
選別装置内が詰まる	選別装置内の選別板にホコリ等が付着している	布切れ等で掃除する
	選別装置内にワラズが引っ掛かっている	ワラズを取り除く
	選別エルボにワラズが引っ掛かっている	ワラズを取り除く
	選別装置の吸引口にワラズが引っ掛かっている	ワラズを取り除く
玄米の損傷が多い	脱ブケースゴム及び脱ブ回転盤が磨耗している	交換
脱ブ率が悪い	水分が高い	-
	未熟米が多い	-
シイナ口に整流米が多くでる	脱ブ機吸引ファンが強すぎる	風量調節をする
糠の中に整流米が混ざる	金網が破損している	交換をする。(21頁参照)
	金網枠が本体前部にはまり込んでいない	排出板セットの組み直し

# 保証規定

## 1.保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。  
但し業務用は3ヶ月といたします。  
(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

## 2.保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認められた場合に限り、弊社特約販売店または指定サ-ビス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料で行います。

## 3.適用除外

保証期間内でも、次の場合には保証いたしません。  
(1)使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。

- (2)弊社が規定する仕様の限度を超えて使用し故障した場合。
- (3)弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- (4)弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- (5)弊社特約販売店、または弊社指定サ-ビス工場以外で修理され、故障した場合。
- (6)故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレ-ム判定完了まで保管して下さい。)
- (7)本書のご提示がない場合。
- (8)本書に、購入日(年月日)・購入先(販売店名及び農協名)の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。

購入年月日	平成	年	月	日
購入先 (販売店及び農協)				



この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

お問合せは、ご購入先あるいは弊社の出張所、又は本社へ

## マルマス機械株式会社

本社・工場	富山県中新川郡上市町若杉2	TEL 076-472-2233(代)
新潟工場	新潟県燕市小池5212-3	TEL 0256-66-2411~2
札幌出張所	札幌市北区篠路2条5-16-17	TEL 011-771-5357
関東出張所	埼玉県羽生市上新郷6137-21	TEL・FAX 0485-61-1566
広島出張所	広島市西区楠木町1-5-12	TEL・FAX 082-294-6441
熊本出張所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1	TEL・FAX 096-320-4973
福岡出張所	福岡市東区和白丘1丁目7番3号	TEL・FAX 092-606-3293
<ホームページ>	<a href="http://www.marumasu.co.jp">http://www.marumasu.co.jp</a>	<e-mail> mill_star@marumasu.co.jp

2013年11月1日 初版発行